



2023年8月1日

<各位>

NANO MRNA 株式会社
代表取締役社長 秋永 士朗
(4571 東証グロース)
問合せ先 IR担当 土屋 千映子
電話番号 03-3241-0553

米国子会社の会長職内定のお知らせ

当社の米国子会社の会長として、Dr. Michael Houston の就任が内定しましたのでご案内いたします。同氏は、8月1日付で当社事業における活動を開始しました。

Houston 氏は、世界有数の mRNA 医薬の医薬品製造受託機関(CDMO)である TriLink Biotechnologies で、2017年から2023年まで最高科学責任者(CSO)を務められました。その間、ファイザー・BioNTech の COVID-19 ワクチンにも使用されている CleanCap[®]の開発や、mRNA の製造に関わる新しいプロセス開発に重点をおき、TriLink 社成長の原動力として活躍されました。

CleanCap[®]は COVID-19 ワクチン開発を最速で実用化に導いた最も重要な要素で、現在の mRNA 創薬に必要不可欠な技術として世界で用いられており、この mRNA 医薬への貢献により、Houston 氏は世界中の mRNA に関わる企業とつながるとともに、氏の下には最新の mRNA 技術が集まっています。

当社は、mRNA 医薬の世界的キープレイヤーを迎えることにより格段に高まったプレゼンスを活かして、mRNA 創薬 IP Generator 事業を強力かつ迅速に展開してまいります。

Dr. Michael Houston 略歴

1987 -1992	University of Waterloo	Ph.D., Chemistry
1993 -1997	University of Alberta	Post-Doctoral Fellow Protein Engineering
1998.06-2004.01	Cytovax Biotechnology	Senior Scientist/Director of Chemistry
2004.02-2007.07	Nastech Pharmaceutica	Manager/Director of Chemistry
2007.07-2008.06		Senior Director, Chemistry
2008.06-2009.06	MDRNA Inc.	Vice President Chemistry and Formulations
2009.05-2009.10	Ascent Therapeutics	Vice President of Preclinical Chemistry and CMC
2009.11-2012.07	Marina Biotech, Inc.	Vice President Chemistry and Formulations
2012.08-2013.12	Solid-Phase Consulting	Principal
2014.01-2015.12	PhaseRx	Vice President, Therapeutic Development
2016.01-2017.10		Chief Scientific Officer
2017.11-2023.01		TriLink BioTechnologies

TriLink Biotechnologies Inc.

TriLink BioTechnologies は、核酸合成・製造に関する先駆的CDMOとして1996年に創業されて以来、25年を超えて業界を牽引してきたMaravai LifeSciences (NASDAQ : MRVI) の傘下にある企業です。同社は、mRNA医薬の製造に必要な核酸、NTP、キャッピングアナログなどを供給するだけでなく、ブレイクスルーを目指す企業向けに、スケールアップの専門知識と独自のmRNAなどの製造能力を有しています。また、COVID-19ワクチンによるmRNA医薬の急激な発展とともに飛躍的な成長を遂げており、その年間の売上規模は約\$70M (2019年) から約\$800M (2022年) と10倍以上に達しています。

<https://www.trilinkbiotech.com/>

CleanCap®とは

真核生物の mRNA の 5'末端は修飾されたグアニン塩基で cap 化されています。この cap は、mRNA のタンパク質へ翻訳および分解抑制に重要です。mRNA を in vitro 転写反応(IVT)により製造するには cap 化する必要がありますが、この cap 化には効率や反応工程に問題がありました。CleanCap®は、このような cap 化の問題を一気に解決し、単一工程で 95%以上の高効率の cap 化を実現する画期的なもので、その有用性は COVID-19 ワクチンを含む世界的な商業製造プログラムに用いられていることが証明しています。

以上